

# STOP！転倒災害



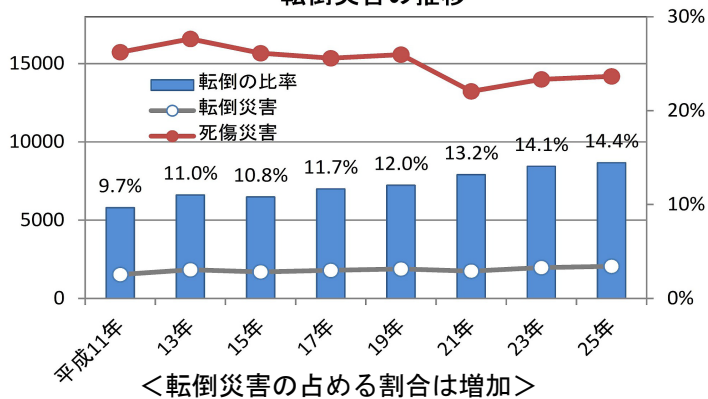
～あせらない 急ぐ時ほど落ち着いて～

陸運業の転倒災害は墜落・転落に次いで多く、その割合は増加傾向にあります。

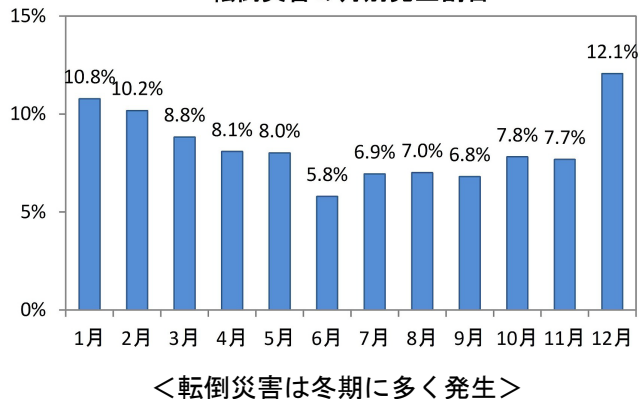
その特徴は、次のグラフのとおりです。次頁のチェックシートなどで安全な作業の徹底を図りましょう。

(資料：厚生労働省「労働災害発生状況」「労働災害データベース(H21～H23年)」)

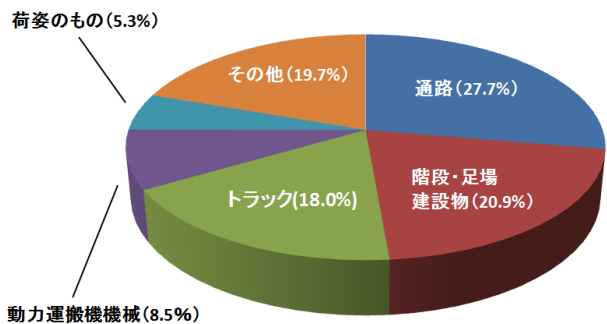
転倒災害の推移



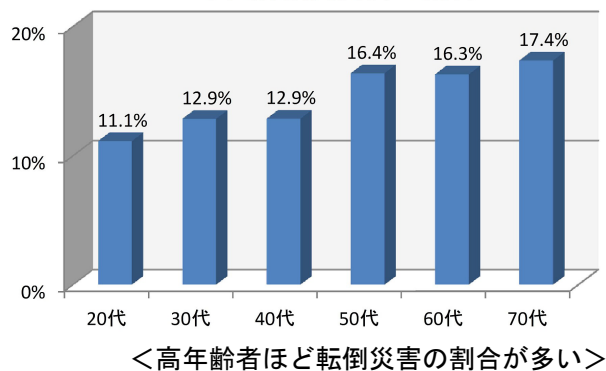
転倒災害の月別発生割合



起因物別転倒災害発生件数



年代別転倒災害の割合



❓ 陸運業の現場ではこのような転倒災害が起きています

**災害発生事例 1**

倉庫内に荷物を搬入中、倉庫出入口に置いてあったパレットに気が付かず、足を取られて転倒した。

**足首の骨折**

**災害発生事例 2**

トラックからの荷卸し作業中、荷台から飛び降りた際に、足をひねり転倒し手をついた。

**手首の骨折**

**災害発生事例 3**

トラック荷台を片付けていたところ、台木につまずいて転倒。荷台にあるチェーンブロックに足を引っかけて負傷した。

**足の骨折**

⚠️ こんなところにも転倒の危険が！

輪留め等の突起物



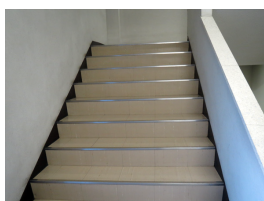
通路の凹凸



スロープ



階段



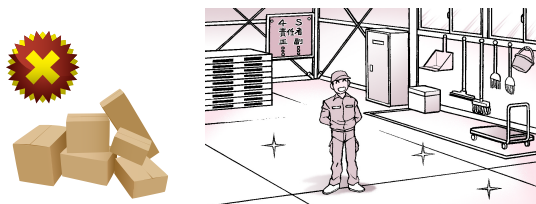
マット



## ここが肝心！

### 4S(整理・整頓・清掃、清潔)を徹底しましょう！

本来そこに無いはずの障害物によって災害が起こった場合、これは人災と言っても過言ではありません。社員教育で4Sを徹底し、障害物に人が触れることがない安全な職場作りを心掛けましょう。



## ここが肝心！

### 長時間運転した後はストレッチを行いましょ！

長時間の運転後は、股関節の機能が低下することにより、運転席から降りる際や、降りた後に転倒するリスクが高まります。また、加齢とともに股関節が固くなったり、周囲の筋力が低下し、バランスを崩しやすくなります。長時間運転した後は、ゆっくり降り、ストレッチをしてから動きましょう。



## あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう 転倒災害防止のためのチェックシート

【厚生労働省「職場での転倒事故を減らしましょう！」リーフレットより】

チェック項目		✓
1	身の回りの整理・整頓を行っていますか 通路、階段、出口に物を放置していませんか	
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	
3	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか	
4	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか	
5	ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	
6	職場巡視を行い、通路、階段などの状況をチェックしていますか	
7	荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか	
8	ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか	
9	作業靴は、滑りにくさを考えて選んでいますか	
10	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	

問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります！

### 「STOP！転倒災害プロジェクト2015」実施中！

平成27年1月20日から12月31日の間、厚生労働省及び労働災害防止団体が主唱者となり、「STOP！転倒災害プロジェクト2015」が展開されています。このプロジェクトでは、転倒災害の多い2月と全国安全週間準備月間である6月を重点取組期間として、安心して働ける職場環境の実現を目指しています。

なお、厚生労働省ホームページでは、「転倒災害防止特設サイト」が開設されています。転倒災害の現状からその対策まで、事業場での取り組みに役立つ情報が集約されています。

[<厚生労働省 ホームページ>](#)

「STOP！転倒災害プロジェクト2015」で検索

STOP！転倒

検索

